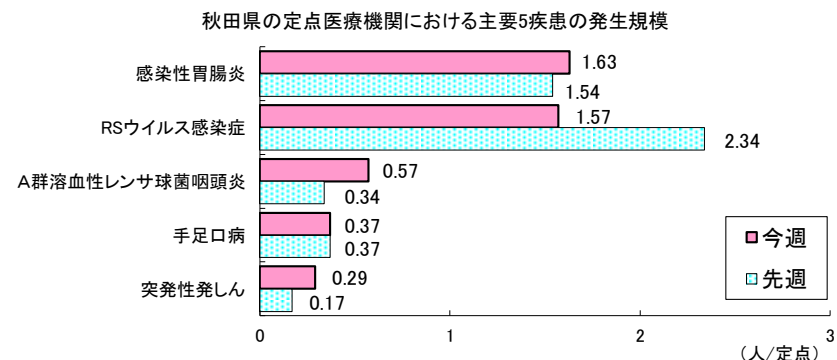




【第41週の発生動向】

<定点把握対象疾患(週報)・前週比>

1. 感染性胃腸炎は、県全体で1.1倍に増加しています。保健所別では、大館、北秋田、大仙、横手、湯沢で増加、秋田中央で同規模、秋田市、能代で減少しています。
2. RSウイルス感染症は、県全体で33%減少しています。保健所別では、大仙、湯沢で増加、秋田市、大館、北秋田、秋田中央、由利本荘、横手で減少しています。
3. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で1.7倍に増加しています。保健所別では、秋田中央、由利本荘、大仙、湯沢で増加、秋田市、能代で減少しています。



発生報告

<五類定点対象疾患(週報)>

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第40週	第41週	増減	第40週	第41週	増減	第40週	第41週	増減	第40週	第41週	増減	第40週	第41週	増減	第40週	第41週	増減	第40週	第41週	増減	第40週	第41週	増減	第40週	第41週	増減			
RSウイルス感染症	2.34	1.57	↘	2.43	1.57	↘	7.50	5.75	↘	3.00	1.00	↘				1.00	0.25	↘	1.50	0.75	↘	0.50	0.75	↗	4.33	1.67	↘	1.00	1.75	↗
インフルエンザ	0.50	0.19	↘	0.64	0.45	↘	1.00		↘	0.33		↘				0.17	0.67	↗	1.83	0.17	↘									
咽頭結膜熱	0.06		↘																			0.25		↘				0.25		↘
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.34	0.57	↗	0.71	0.57	↘							0.33		↘	0.75	1.00	↗		0.25	↗	0.50	2.00	↗				0.25	0.75	↗
感染性胃腸炎	1.54	1.63	↗	3.71	2.29	↗	1.25	2.00	↗		0.50	↗	3.00	2.67	↘	1.75	1.75					0.75	1.00	↗	0.67	1.67	↗	0.50	2.00	↗
水痘	0.14	0.06	↘	0.14	0.29	↗							0.33		↘							0.75		↘						
手足口病	0.37	0.37		0.29	0.71	↗	0.50	0.75	↗	0.50		↘				1.25	1.00	↘	0.25		↘				0.67	0.33	↘			
伝染性紅斑	0.11	0.03	↘	0.29	0.14	↘							0.33		↘				0.25		↘									
突発性発しん	0.17	0.29	↗	0.57	0.57								0.33	0.67	↗				0.25	0.25						1.00	↗			
ヘルパンギーナ	0.20	0.11	↘								0.50	↗							1.25	0.75	↘				0.67		↘			
流行性耳下腺炎	0.03		↘	0.14		↘																								
川崎病		0.03	↗																							0.33	↗			
急性出血性結膜炎									*	*			*	*		*	*										*	*		
流行性角結膜炎	0.29	0.29		0.67	0.67					*	*		*	*		*	*										*	*		
細菌性髄膜炎																*	*													
無菌性髄膜炎																*	*													
マイコプラズマ肺炎	0.25	0.63	↗	1.00	マイ	↘					1.00	↗				*	*		1.00	4.00	↗									
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																*	*													
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)																*	*													

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。
「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

- ・二類感染症の結核が北秋田保健所管内から1人、能代保健所管内から1人、報告されました。
- ・三類感染症の腸管出血性大腸菌感染症が大仙保健所管内から1人、報告されました。
- ・五類感染症の侵襲性肺炎球菌感染症が秋田市保健所管内から1人、大館保健所管内から1人、百日咳が秋田市保健所管内から1人、北秋田保健所管内から4人、秋田中央保健所管内から1人、大仙保健所管内から1人、報告されました。

<全数把握疾患>

類型	疾患名	(人)		
		1週-40週	41週	計
		全国	秋田	秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ベスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
二類	急性灰白髄炎			
	結核	16375	87	2
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
	鳥インフルエンザ(H7N9)			
三類	コレラ	4		
	細菌性赤痢	75	1	
	腸管出血性大腸菌感染症	3018	33	1
	腸チフス	33		
	バラチフス	13		
四類	E型肝炎	394	3	
	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	362	7	
	エキノкокクス症	16		
	黄熱			
	オウム病	13		
	オムスク出血熱			
	回帰熱	4		
	キャサナル森林病			
	Q熱			
	狂犬病			
	コクシジオイデス症	2		
	サル痘			
	ジカウイルス感染症	1		
	重症熱性血小板減少症候群	81		
	腎症候性出血熱			
	西部ウマ脳炎			
	タニ媒介脳炎			
	炭疽			

類型	疾患名	(人)		
		1週-40週	41週	計
		全国	秋田	秋田
四類	チクングニア熱	38		
	つつが虫病	86	5	
	デング熱	371	1	
	東部ウマ脳炎			
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)			
	ニパウイルス感染症			
	日本紅斑熱	208		
	日本脳炎	3		
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	ブルセラ症	2		
	ペネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ボツリヌス症	1		
	マラリア	46		
	野兎病			
	ライム病	13		
	リッサウイルス感染症			
リフトバレー熱				
類鼻疽	2			
レジオネラ症	1836	13		
レプトスピラ症	17			
ロッキー山紅斑熱				
五類	アムール赤痢	674	4	
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	262	1	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1674	12	
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	60		
	急性脳炎	679	4	
	クリプトスポリジウム症	18		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	145	1	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	705	3	
	後天性免疫不全症候群	904		
	ジアルジア症	34		
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	436	2	
	侵襲性髄膜炎菌感染症	39		
	侵襲性肺炎球菌感染症	2455	13	2
	水痘(入院例に限る)	366	8	
	先天性風しん症候群	3		
	梅毒	5111	18	
	播種性クリプトコックス症	111		
	破傷風	99	3	
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	56		
百日咳	13377	159	7	
風しん	2222	3		
麻しん	719			
薬剤耐性アシネトバクター感染症	24			

トピック

<夏季に流行した手足口病について>

今年の夏は、夏かぜのひとつである手足口病が全国集計として過去10年間で最も大きな流行となりました。秋田県では2011年に次ぐ大きな流行となり、8月上旬に流行のピークとなりました(図)。また、これまでに集団発生も24事例と、ここ数年に比べて数多く報告されています(表1)。今後、手足口病の発生は少なくなりますが、冬季はインフルエンザ等の呼吸器の感染症が多くなります。手洗い等をしっかり行い、感染予防に努めましょう。

■病原体の検出状況

原因となるエンテロウイルス属には70以上の型があり、主要な型が毎年入れ変わりながら流行します。県健康環境センターで実施している病原体定点観測調査事業による調査では、2019年は3種類のウイルスが検出されており、前年に検出されていなかったA群コクサッキーウイルス6型が80%を占めました(表2)。この傾向は、全国的に同様でした。

表1 手足口病集団発生数推移

年	発生事例数
2015	10
2016	0
2017	7
2018	3
2019*	24

*41週現在

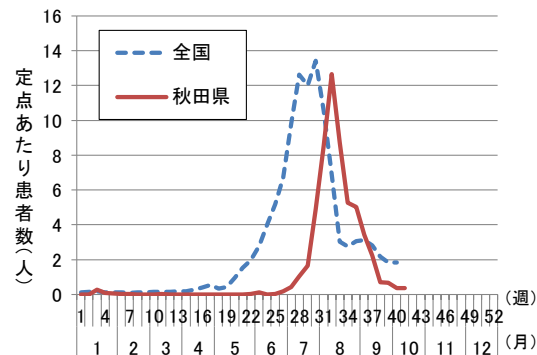


図 手足口病の患者報告数の推移(2019年)

表2 秋田県内におけるエンテロウイルス属検出数

ウイルス名	型別	2018年	2019年**
A群コクサッキーウイルス	2型	6	0
	4型	9	0
	5型	2	1
	6型	0	12
	9型	3	0
	10型	6	0
B群コクサッキーウイルス	1,3,4,5型	7	0
	エコーウイルス	9,11,18型	9
エンテロウイルス	68型	1	0
計		44	15

**8月29日までに採取された検体の検査結果

感染症の集団発生報告

RSウイルス感染症による集団発生報告が2件ありました。

所在地	施設名称	報告日	有症者数			把握期間	症状
			利用者(園児、入所者等)	職員	計		
鹿角市	大湯保育園	10/11	52 名のうち 14 名	18 名のうち 0 名	14 名	9/29 ~ 10/11	発熱、咳
北秋田市	南鷹巣保育園	10/11	107 名のうち 11 名	32 名のうち 0 名	11 名	10/1 ~ 10/11	発熱、咳、痰



【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
注意報・警報はありません。		

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報		警報		対象疾患	注意報		警報	
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)	対象疾患		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)	
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1		
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2		
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1		
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4		
手足口病	-	5	2						

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		